

tell/say/speak/talk の意味と使い方の違い

日本語の「話す」を表現する英語には tell/say/speak/talk があり、その話したい内容や状況によって以下のように使い分けます。

★ tell : (人に)話す/言う/告げる/伝える/教える *tellの直後に「聞き手の人」を置く

聞き手(人)に対して情報を伝えたり要件を告げる/話す - の意味を持つ

日本語で「～を教える」と言う時もその内容によって teach と tell を使い分ける必要がある。

例1) He told me to issue the report immediately. 彼はその報告書をすぐに提出するように私に言った。

例2) I told all the team members that our proposal was approved by the president.

私はプロジェクトチームのメンバー全員に私達の提案は社長に承認されたと伝えた。

例3) Please tell me your name. 名前を教えて下さい。Please **teach** me your name. とは言わない!!!

例4) I will tell you how to open the box. その箱をどうやって開けるか教えてあげましょう。

*teach は特別な知識や技術、勉強を教える時に使う。その知識・技術・勉強の内容を習得するには時間がかかる。一方 tell の「教える」は、情報を伝えるという意味での「教える」なのですぐに理解できる内容、例えば名前や簡単な手順を教える時に使う。

★ say : 話す/言う

意見や考えなどの内容を伝える事に重点をおいて一方的に話す/言う - の意味を持つ

例1) My mother always says health is most important. 母は健康が一番大事だといつも言っている。

例2) I have to say that I am surprised at the bad business result.

私はその業績の悪さには驚いていると言わざるを得ない。

例3) He says he will participate in the meeting tomorrow. 彼は明日会議に参加すると言っている。

★ speak : (声をだして) 話す/しゃべる

上述のように say が話す内容に重点を置くのに対して、speak は内容よりも声に出して何かを話す/しゃべる行為に焦点をおく時に使う。

例1) She can speak English and French. 彼女は英語とフランス語がしゃべれます。

例2) Please speak more slowly. もっとゆっくり話して下さい。

例3) You should speak up, if you have any other ideas. 何か他のアイデアがあるなら声をあげるべきです。

★ talk : お互いに話し合う/会話する

相手がいて話し合う時の「話す/会話する」が talk。

例1) I need to talk to you now. 今 あなたと話し合う必要があります。

例2) We already talked about it yesterday. 私達は昨日その件について既に話し合いました。

例3) Let's talk on the phone tomorrow. 明日電話で話しましょう。

=以上です=